# 時代の変化に応じた社会におけるデジタル化の変遷

デジタル化の進展に伴いお客さまと当社の接点やコミュニケーションの在り方は大きく変わりました。スマートフォンやインターネットの急速な普及により、かつては店頭や自動契約機など、対面での取引が中心でしたが、今ではWebサイト、アプリなどデジタルチャネルでのサービスの提供が中心となっています。

デジタル化は今後も止まることなく急速に進んでいきます。当社はこれからも時代やお客さまのライフスタイルの変化に柔軟に対応しながら、デジタルを軸としたサービスの拡充に取り組んでいきます。

［ デジタル化の変遷 ］

**1962**
**創業より有人店舗を展開**

**1983**
**自動与信システム稼働**

**1995**
**自動契約機導入**

**2004**
**インターネット返済の開始**

**2011**
**スマホ専用サイトの開設**

**2013**
**スマホ専用アプリの導入**

**2017**
**スマホATM取引の導入**
**アプリローン開始**

**2018**
**生体認証機能の導入**

**2025**
**マイナンバーカード認証による本人確認サービス開始**

**デジタルを前提としたビジネスモデルへのスピーディな転換**

**常時接続が日常にスマートフォンの普及**

**通信からネットワークへインターネット出現**

**1998**
**インターネットでの契約受付開始／コンビニエンスストアでの入金収納代行サービスの開始**

**1987**
**フリーダイヤルサービス開始**

［ 当社の変遷 ］

**1962年3月**
大阪市に関西金融設立

**1963年4月**
PC（プロミスチェック）システムによる消費者金融業を開始

**1974年6月**
業界初のコンピュータシステム稼動

**1980年1月**
プロミスに商号変更

**1996年9月**
東京証券取引所の市場第一部に上場

**2000年5月**
三和銀行(現 三菱UFJ銀行)、アプラス、プロミスとの合弁会社 モビットを設立(同年9月営業開始)

**2004年6月**
三井住友フィナンシャルグループ（以下、SMFG）と広範な業務提携および資本提携で合意（契約締結は同年9月）

**2010年10月**
三洋信販を吸収合併

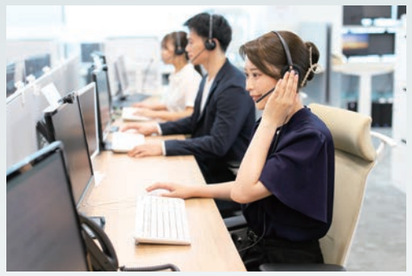
**2012年4月**
SMFGによるプロミスの完全子会社化

**2012年7月**
プロミスをSMBCコンシューマーファイナンスに商号変更

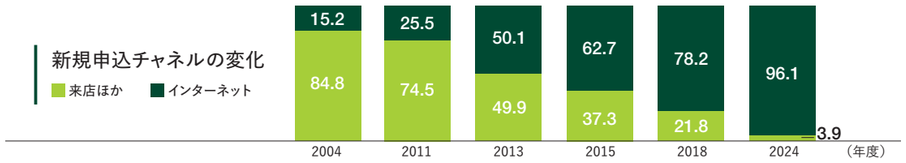
**2014年3月**
モビットを完全子会社化

**2023年7月**
三井住友カードがSMBCモビットを吸収合併

**2024年10月**
三井住友カードによる当社の連結子会社化



## 最も変化の激しい20年・Webとリアルでの顧客接点の変化

この20年の間にお客さまの新規申込チャネルは、来店が中心となるリアルチャネル（店頭窓口、自動契約機）からWebへ移行してきました。来店しなくてもWeb上で申し込みから契約手続まで可能となっており、この変化は利便性の向上だけにとどまらず、お金の借り方や返し方にも影響を与えています。

キャッシュレス決済の拡大により、お金は手に持つものから、画面上で管理・移動するものへと変化しました。プロミスの取引においても、カードやスマートフォンを使ってATMから借入・返済する方法に加え、インターネットからの振込や返済、口座振替など、現金のやり取りを行うことなくWeb上で借入や返済が可能となっています。